

7月25日からの大雨災害の復旧に全力で取り組んでいます

7月25日からの大雨災害により、お亡くなりになりました方々にご遺族に対し深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

庄内地域に初めて「大雨特別警報」が発表された記録的な大雨は庄内地域の住家、道路、河川、森林、農地・農業用施設、農作物などに甚大な被害を及ぼしました。

県では、7月25日の発災と同時に山形県災害対策本部及び同庄内支部を立ち上げて被災状況の把握を進め、孤立集落を生じさせた道路寸断箇所へ迂回路や仮設道路を設置してその解消を図るとともに、護岸が破損した河川へ大型土のうを設置して更なる被害拡大を防止するなど、速やかな応急復旧対策に取り組んでいます。

被災された方々の健康をサポートするため、庄内保健所では、県内の他の保健所職員や庄内地域の市町の保健師等と一緒に、各避難所での健康管理や、被害が大きかった地域を個別に訪問して健康観察や保健指導を行いました。

今後の生活再建に向けては、被災された世帯に県営住宅や職員公舎の無償提供を行うほか、被災家屋の清掃などにお手伝いいただける災害ボランティアの募集を総合支庁公式SNSで広く周知しています。

被災自治体に対しては、発災直後から連絡調整員を派遣して最前線での課題とニーズを把握し、今求められている支援策等の情報提供を行うなど伴走支援を行っています。また、被災状況の把握やその復旧、今後行われる国の災害査定に向けて職員を派遣し、技術的支援を行っています。

このたびの災害に対して、発災直後の7月27日に吉村知事が鶴岡市・酒田市・遊佐町を訪れ、復旧復興に向けて浸水被害を受けた住宅や冠水した農地、川の溢水により流出した道路などの被災状況を確認しました。

また、8月21日には松村防災担当大臣が酒田市を訪れ、吉村知事と矢口酒田市長から深刻な被災状況の説明を受けられました。

今後も市町及び関係機関・団体と連携を図り、被災された方々への支援を行うとともに、一日も早い復旧復興に向けて全力を挙げて取り組んでまいります。

〈庄内地域の主な被害状況〉(8月30日現在)

出典:県公式HP

- 人的被害 死者1人(酒田市)
- 建物被害 全壊12棟、半壊338棟、一部損壊1棟
床上浸水60棟、床下浸水847棟
- 県管理道路 全面通行止8箇所(うち1箇所は8月30日中に片側交互通行に移行)
- 県管理河川 越水3河川3箇所
溢水9河川14箇所
- 上水道施設 断水2市町(酒田市の一部を除き復旧)

〈道路・河川の主な応急復旧状況〉

国道344号
(酒田市上青沢地区)



山造川
(庄内町肝煎地区)



7月27日に陥没した日本海沿岸東北自動車道(遊佐町)を視察する吉村知事(中央)



8月21日に酒田市の被災現場を視察する松村防災担当大臣(左から2人目)

被災された方への県の支援に関する情報はこちら



義援金募集のページはこちら



～若者の豊かな発想と行動力で地域を元気に～ 知事と若者の地域創生ミーティングin酒田市を開催



7月16日、酒田市「日和山小幡楼」を会場に「知事と若者の地域創生ミーティングin酒田市」が開催されました。酒田市内の高校生4名を含む10代から40代までの方々8名にお集まりいただき、矢口酒田市長の進行で、まちづくりや地域活性化について、吉村知事と意見を交しました。

酒田宵まつりの企画運営に携わった高校生からは、「自分のやりたいことを発言できて楽しかった」、「一緒に作り上げていったことで自信につながった」、「祭の力で人や街を元気づけることができるんだと実感した」などの意見が相次ぎ、若者が地域や大人と関わる機会をどんどん増やしていくと同時に若者の意見を汲み上げていくことが必要との声があがりました。



知事は、「酒田は開かれた港町でお祭りがよく似合う。伝統を引き継ぎ、発展させていく若いエネルギーに満ちており、頼もしい」と期待を寄せられました。

また、若者の定着・回帰に関し、「魅力ある就業環境をつくり、日本、世界で経験を積んだ若者を取り込んでいきたい」、「酒田には、遊ぶ場所も面白い店もたくさんある。若者にどう伝えていくかが大事」といった意見が出されました。

知事は、「いくつになっても知らないことは山ほどあるが、知れば知るほどそこが好きになる。官民一緒になって伝えていくことが大事。今日の御縁を大事にして知恵を出し合い、酒田市がもっと活性化して人を呼び込める街になっていったらいいと思う」とエールを送りました。

総務課 総務係 ☎ 0235-66-5421



一等米比率回復に向けて！

～高温を乗り切るイネ 決め手は水管理～



令和5年8月は記録的な高温少雨となり、庄内では「つや姫」「雪若丸」等を含め米の一等米比率が大幅に低下しました。

気象変動に負けない水稲づくりを徹底するために、農業技術普及課では今春の育苗期から、通常の普及指導にプラスした取組みを実施しています。

たとえば、適切な水管理を促す広報巡回、「スマートつや姫」活用のための地域別生産者研修会、臨時生育調査に基づく技術対策の周知など、これまで以上に生産者やJA営農指導員に対して声かけ・情報発信しています。

また7月25日の大雨を受けて、緊急作物担当者会議を開催し、浸水・冠水圃場の水管理や病害虫対策等について、JAや市町の担当者と確認しました。

水稲は、8月上旬には穂が出揃い、いよいよ収量や品質が決まっていく重要な段階に入ります。

今年の夏もかなり暑くなるという前提で、登熟能力の維持に努める必要があります。その登熟能力は、根の活力に依存します。そこで8月を「根力(ネヂカラ)強化月間」と位置付け、のぼり等の啓発資材を活用することにより、根力強化に向けた水管理の徹底を生産者に呼びかけていきます。

また高温によって刈取適期が早まる可能性もあるため、登熟状況に関する情報をこまめに発信していきます。

いよいよ一等米比率回復の最終ラウンドです。農業技術普及課では引き続き、声かけ・情報発信に力を入れます。



「スマートつや姫」を活用した穂肥指導
(7月12日)



緊急作物担当者会議 45名参加
(7月30日)

農業技術普及課 作物担当 ☎ 0235-64-2103 酒田農業技術普及課 作物担当 ☎ 0234-22-6521

「WAKU WAKU WORK」 地元企業の職業体験会

～庄内で働く魅力を中高生が体感～

進路決定前の中高生から地元の「人・企業・職業」を知ってもらい、地元定着や進学後の地元回帰を促すため、学校と県・市町の連携による中高生向けの職業体験会「WAKU WAKU WORK」を開催しています。10名程度のグループに分かれ、体育館、教室に設置された事業所のブースで50分×2セットの体験学習を行います。

今年度は4月25日から11月15日までの間に26校(中学校19校、高校7校)で計31回開催する予定です。また、過去最多の86事業所に参加していただいております。これにより庄内地域では、ほぼ全ての中高生がWAKU WAKU WORKを体験しています。

生徒からは「ものづくりの仕事に今まで興味がなかったが、体験してとても興味がわいた」、事業所からは「参加企業の体験の様子を先生にも見ていただける貴重な機会になっている」との感想がありました。

今後も、新たな事業所の参加を促すとともに、学校や事業所からご意見をお聴きしながら、さらに効果的な事業となるよう取り組んでいきます。

地域産業経済課 産業振興担当

☎ 0235-66-5487



金属の溶接の体験



福祉事業所の体験

地元事業所の仕事内容などを紹介する「庄内地域版企業情報ガイドブック」の発行

～庄内で働く魅力を保護者や県外進学者等に発信～

庄内地域雇用対策連絡会議(事務局:庄内総合支庁)では、若者に地元企業を知ってもらい、その魅力に気付き就職してもらえるよう、庄内地域に就業場所を有する過去最多136事業所の情報をまとめた「庄内地域版企業情報ガイドブック」を発行しました。

今年度は、夏休みの帰省時期に合わせ、庄内地域の企業の情報を保護者を通じて学生に提供し、就職活動への準備に役立ててもらうため、発行時期を昨年度より2か月前倒しし、7月に発行しました。また、給与以外の点が重要視されてきて



株式会社 鈴木工務店

〒982-0811 庄内市日学塚田16-3番地
 主な業務: 本社、および庄内地域の工事取組
 (おもに鶴岡市内)
 従業員数: 34名(うち男性28名・女性6名)

安心して働き続けられる、真面目で和やかな会社です

◆創業105年超の総合建設業です。「自然にやさしく環境を大切に」を合言葉に、公共建築工事(学校施設・福祉施設等)、公共土木工事(道路工事・河川維持工事等)、民間工事(新築住宅・店舗建築・リノベーション等)、多様なものづくりに携わっています。◆地域貢献のひとつとしてカーブミラーの高規格清掃ランチャを20年以上上流加工し、鶴岡市建設業振興のSDG5部門で表彰されました。◆業期間の職業体験者に就職オファーとして活躍してもらったり、社員自習や家庭のために時間単位有休を活用してもらったり、健診受診100%を20年以上継続している会社です。「年齢や性別を問わず安心して働き続ける」ために、時流に沿った職歴順りに励んでいます。

2024年4月現在
 平均給与(35歳) 技術職 280,000円
 昇給 年1回 6月
 賞与(半年度賞与) 年3回 5-8-12月

休日
 実働日数 109日
 土休 〇 日休 〇 祝休 〇
 有給休暇取得日数(年額) 12.5日
 勤務外労働時間(月) 6.5時間

交通手段 トラック・バイク
 障がい者 採用可能
 在宅勤務 採用可能

備考:災害対応など緊急の場合は、交通手段による可能性があります。

男女別採用人数(男性・女性)
 男性採用人数 0人
 女性採用人数 1人

人材育成制度
 研修制度 〇 自己啓発支援制度 〇
 社内規定 メンター制度 〇
 キャリコン制度 〇

見学等の受け入れ
 インター 〇 職場見学 〇
 備考:ご希望と調整し、随時実施しております。

お問い合わせ
 担当: 総務部 若藤
 tel 0235-28-2758
 E-mail info@kksuzuki.jp

先輩社員からのメッセージ

私は就職氷河期に就労として建設業界に入りましたが、不景気の影響で何度か転職を余儀なくされ悩むこともありましたが、土木の面白さや社会に貢献できる誇りから、こここつぎに続けて「1級施工管理技士」を取得。そうして20代後半で地元で働きたいのが土木業界です。いろいろな職場を、作業員と施工管理、両方の立場で経験してきたからこそ、私は鈴木工務店の良さを実感しています。

若い方が高齢化したのには、自に何に興味を持ったか進路を変えて挑戦してみるのも良いということ。それが土木業なら、鈴木工務店が働きやすいよ！と心から勧めます。

土木部 主任 太田 泰弘

ることから、「休日の状況(土休、日休、祝休)」、「勤務制度(時短勤務、在宅勤務等)」、「人材育成制度(研修制度、メンター制度等)」を今年度より新たに掲載しています。

更に、スマートフォンから手軽にWeb版ガイドブックにアクセスできるよう、二次元コードを記載したカードを、各市町で開催される“二十歳 のつどい”など、若者が集まる各種イベントで配付していきます。

地域産業経済課 産業振興担当 ☎ 0235-66-5487

「メタバース婚活♥in庄内」を開催しました！



7月20日(土)に、庄内地域2市3町と庄内総合支庁が連携して「メタバース婚活♥in庄内」を開催しました。

参加者は、メタバース(仮想空間)に入り、自分で設定したアバター(分身キャラクター)を通して、男女1対1の会話(合コン)と1人ずつのアピールを行いました。

1対1での合コンタイムでは、時間が足りなくなるほど話が盛り上がり、アピールタイムでは、趣味や長所を紹介したり、アバターを駆使したパフォーマンスで想いを伝えていました。

あっという間のイベントでしたが、**最終的に5組のカップルが成立しました！**

成立したカップルには7月28日(日)にメタバースでのアバターデートを楽しんでもらいましたが、今後はお互いのタイミングでリアルデートに進展していきしてもらいたいと思います。

11月には2回目の開催を予定しています。新しいカタチの婚活に参加してみませんか？



子ども家庭支援課
子育て支援・女性青少年担当
☎ 0235-66-5457



画像提供：パーソルマーケティング@GAIA TOWN

おいしい庄内空港で「夏の味覚まつり」を開催しました！



庄内空港利用振興協議会では、7月6日・7日と8月7日・8日の4日間、旬の農産物を活用した庄内空港の利用拡大を図るため、関係団体と連携して、庄内空港利用者に「庄内砂丘メロン」と「だだちゃ豆」の振る舞いと販売等を行うイベントを開催しました。

今回のイベントは、おいしい庄内空港において、庄内地域を代表する農産物を提供することにより、庄内に来られた方へおもてなしをするとともに、庄内砂丘メロンとだだちゃ豆のPRを行うため企画したもので、到着ロビーやチェックインロビーで行った振る舞いでは「おいしい」という声がたくさん聞かれ、庄内地域の食の魅力を多くの方に実感していただきました。

また、イベント期間中は空港内のラウンジや飲食店でも利用者にメロンとだだちゃ豆の提供を行ったほか、1階の特設販売ブースでは、試食をされた多くの方からメロンやだだちゃ豆、お菓子などの関連商品を購入いただきました。

こうした取組みを通して、地域の魅力を発信し、関心を高め、庄内空港の利用拡大を図ってまいります。



到着ロビーでのおもてなし



特設販売ブースでの試食販売



総務課 連携支援室 ☎ 0235-66-5443



親子で海ごみについて体験学習！

「とびしまクリーンツーリズム」を開催



7月から8月にかけて、「飛島」を舞台に親子で海ごみ問題について学ぶ「とびしまクリーンツーリズム」を全4回開催しました。

県内の小学5年生から中学2年生までの子どもとその保護者を対象にした体験型環境学習ツアーで、海岸のごみを拾い、どんなごみがあるかを観察し、その後、海ごみ問題について仲間とアイデアを出し合いながら、これからの地球を守るために必要なことをグループで話し合いました。親も子も一緒にアイデアを出し合い、自然に還るペットボトルの開発などワクワクするようなプロジェクトが発表されました。



ソデの浜での清掃活動



環境課 廃棄物・海岸漂着物担当

☎ 0235-66-4914

アクティビティプログラムでは、海でのスノーケリング体験やフィールドクイズを取り入れた飛島探検で島の歴史や豊かな自然にも触れ、親子でたっぷり島の魅力を楽しんでいただきました。

参加者からは「海ごみ問題について勉強になった」「また飛島に遊びにきたい！」といった声が多く聞かれました。飛島を舞台とした親子での体験学習が、今後の環境問題への関心、行動につながることを期待されます。



グループでの話し合い



庄内産地直売所 周遊レシートキャンペーン 開催

～直売所でお買い物をするだけ！ おいしい商品が45名様に当たる！～



庄内地域の直売所で組織する「庄内直売組織連絡会議」主催のキャンペーンが8月9日から10月14日まで開催されます。

参加店は庄内地域の直売所22店舗です。

3店舗で買い物をし、参加店にある応募用紙にそのレシートを貼って、店内に設置された応募箱に投函ください。抽選で「特賞；新米&お楽しみセット(10,000円相当)」が3名様に、「産直賞；各直売所のおすすめ品」が42名様に送られます。応募用紙を1口として、お一人様何口でも応募できます。

この機会に、庄内の旬の味を求めて、庄内一円のいろいろな直売所を訪れてみてはいかがでしょうか。

庄内産地直売所 周遊レシート キャンペーン

庄内地域の産地直売所3か所を巡って、おいしい商品が45名様に当たる！

キャンペーン 令和6年 期間 8/9(日) ▶ 10/14(日)

【特賞】3名様 新米&産直おすすめ品セット (10,000円相当のセット)

【産直賞】42名様 参加店からのおすすめ商品 (何が当たるかはお楽しみ♪)



もんとあーる白山店

参加店情報等
詳細はこちら



応募方法 ① 下記の参加店のうち、3か所のレシートを集めよう！ ② 参加店にある応募用紙に貼って、店内の応募箱に投函！

異なる3か所だよ

名前、住所、電話番号を必ず書いてね

* キャンペーン期間中のレシートのみ有効です。
* 応募用紙1枚を1口とし、お一人様何口でも応募可能です。

- 参加店 22店舗
- 【遊佐町】道の駅ふらっとひまわりの会
 - 【遊佐町】道の駅ふらっと元気な浜店
 - 【酒田市】産直たわわ
 - 【みどりの里 山居館】みどりの里 山居館
 - 【ひらた産産物直売所】めんたま畑
 - 【食彩工房】いちご畑
 - 【庄内町】なんでもバザールあつてば(クラッセ内)
 - 【道の駅ようない】風車市場
 - 【JAあまのめ】産直の会(ACOPあまのめ内)
 - 【三川町】道の駅庄内みかわ 物産館マイドル
 - 【産直みかわ】産直みかわ
 - 【鶴岡市】ぼっぱの湯 産産物直売所
 - 【ふじしま市場】たたらや
 - 【百万石の里】しゃきと
 - 【羽黒あねちや】の店
 - 【JA鶴岡ファーマーズ】みかど もんじあーる白山店
 - 【JA鶴岡ファーマーズ】みかど もんじあーる駅前店
 - 【JA庄内たがわ】め農マルシェ
 - 【産直あさり】産直あさり
 - 【産直あさひ】産直あさひ
 - 【板の突】食文化の店 クラリ
 - 【道の駅あつみ】しゃりん

※ 景品の発送をもって当選の発表に代わらせていただきます。(10月末～11月上旬頃発送予定)

発行：庄内直売組織連絡会議（事務局：庄内総合支庁農業技術普及課 TEL:0235-64-2103）

農業技術普及課 庄内直売組織連絡会議事務局 ☎ 0235-64-2103

～「いつまでも美味しく口から食べる」を支える～
「食支援フォーラムin庄内2024」を開催します！

誰もが活躍し、いきいきと暮らせる地域づくりの推進のため、フレイル予防につながる「高齢者の食支援」を充実させていくことが課題となっています。

庄内総合支庁では、食支援について理解を深め、支援体制を更に強化することを目的に、医療や介護に携わる方や、地域の皆さんを対象に「食支援フォーラム」を開催します。食支援に関する講演や、地域の食支援団体の活動報告などを予定しています。皆さん、ぜひ一緒に「食支援」について理解を深めてみませんか。

日時：9月28日(土) 午後1時開場
場所：いろり火の里 文化館 なの花ホール
内容：講演、活動報告、嚥下食体験など

保健企画課 健康増進担当 ☎ 0235-66-5476



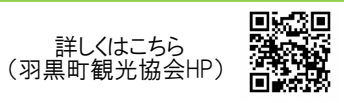
国宝「羽黒山五重塔」
プロジェクションマッピングを開催！

鶴岡市の国宝羽黒山五重塔プロジェクションマッピングが今年も開催されます。

辰年の今年は、「龍」をテーマにした光のアートが夜空を彩ります。

羽黒山五重塔や須賀の滝のほか、参道や杉並木の石段も幻想的な空間となりますので、皆様も懐中電灯等を用意して、夜の羽黒山に足を運んではいかがでしょうか。

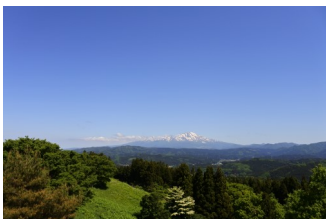
○日時 9月14日(土)から9月16日(月・祝)
19時から21時(受付終了20時30分)



地域産業経済課
観光振興室
☎ 0235-66-5726

森で遊ぼう！ 森で学ぼう！
眺海の森 森の案内人講座

眺海の森の自然を満喫しながら、森のことを学びませんか？
今回は森の中でコーヒープレイク&燻製づくり体験も♪



○開催期日と概要

- 第1回 9月8日(日)
森林案内講座&ネイチャークラフト講座
※オリジナルの箸と箸置き作り
- 第2回 10月19日(土)
樹木講座&応急処置講座
- 第3回 11月17日(日)
樹名板製作・設置&いいとこ探し撮影会



樹名板のイメージ

○開催場所

眺海の森 森林学習展示館

森林整備課森づくり推進室
森づくり担当 ☎0235-66-5524

詳細・お申し込みは
こちらから



9月は山形県自殺対策推進月間です

厚生労働省では、9月10日から16日までの1週間を自殺予防週間と定め、山形県では9月を山形県自殺対策推進月間と定めています。

「眠れない」「憂うつな気分が続く」などの状態は、こころの不調のサインかもしれません。

庄内保健所では、精神科医による月1回の精神保健福祉相談の他、保健師によるこころの健康相談を随時受け付けております。**1人で悩まずに、まずはご相談ください。**

地域保健福祉課 精神保健福祉担当 ☎ 0235-66-4931



こころの健康ついで
(庄内保健所HP)



まろうよこころ
(厚生労働省)

野生鳥獣を見つけたら？



野生の鳥獣は、厳しい自然界の中で、自力で生き延び子孫を残して進化を続けています。野生の鳥獣が本来持っている自然の中で生き抜く力を守ることはとても大切なことです。ケガをしていたり弱っていたりしても、野生の生き物だということを忘れず、そのまま見守ってください。

野生の鳥獣は、さまざまな病原菌を持っていることがあります。思わぬ感染を防ぐためにも、私たちは野生の鳥獣と一定の距離を保ちながら付き合うことが大切です。

また、野鳥をはじめとする野生の鳥獣を許可なく飼うことは、法律で禁じられていますので注意しましょう。

環境課 環境企画・自然環境担当
☎ 0235-66-4744



みどり自然課HP

